

PRESS RELEASE

2019年3月4日

アッヴィ、2019年「日本における働きがいのある会社」調査にて 大規模部門の企業カテゴリーにおいて13位にランクイン

- 昨年の18位から13位へランクアップ
- 多様性のある組織とインクルーシブな職場環境づくりを推進
- 患者さんの笑顔に貢献し続けるために、社員の持続的な成長を支援

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は、Great Place to Work®(以下GPTW ジャパン)が実施する2019年の「働きがいのある会社(Great Place to Work)」調査において、参加企業480社のうち、従業員1,000人以上の企業カテゴリーにおいて13位にランクインしました。アッヴィはこれまでに、2015年に初めて中規模部門に参加し20位にランクインし、昨年は初めて大規模部門に参加し18位にランクインしました。

アッヴィでは、ダイバーシティ&インクルージョンを戦略の重要な施策の一つととらえ、多様性のある組織とインクルーシブな職場環境づくりを推進しています。また、さまざまなライフステージにいる社員一人一人が、ベストのパフォーマンスを発揮できるよう、主体的なワークライフマネジメントをサポートする制度も整えています。

ベストカンパニー選出を受けて、社長のジェームス・フェリシアーノは、次のようにコメントしました。「社員が、会社そして自身の仕事に誇りをもち、常に成長し続けることなくしては、患者さんの笑顔に貢献し続けることはできないと考えています。組織が拡大する中、多様なバックグラウンドを持つ社員の経験や能力を生かし合える職場環境の充実を目指して、[先日の本社移転](#)もその一環ですが、働き方改革を一層、進めてまいります」

アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、免疫疾患、がん、ウイルスおよび神経疾患の4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](#)、[Facebook](#)、[LinkedIn](#) や [Instagram](#) でも情報を公開しています。

[テキストを入力]
abbvie

日本においては、1,000 人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jpをご覧ください。